

桃井第三小学校

探究する子どもを支える学校図書館

今の学校図書館

学習資料を充実させ蔵書を更新したり、パスファインダーやリンク集を作成したりして、情報センターとしての機能を向上させた。また環境を整えるだけでなく、多様な情報源から目的に合わせ選択して使いこなせるように、情報活用能力の育成に力を入れた。探究型学習においては発達段階に合ったスキルを積み上げ、自らの課題を意欲的に解決できるよう支援した。

学校図書館の運営

学校組織の研究部会の中に「学校図書館情報協議会」を位置付け、情報活用能力育成や探究学習を支援する学校図書館活用を計画的にすすめている。また、今年度は情報を活用した授業の記録を担当してもらい、それを学校図書館と共有することで、来年度の指導に活かす試みを行った。

資料の整理や除籍作業などは図書ボランティアによる協力も大きい。学習資料を揃えるために、公共図書館とも連携している。

1年間の主な活動

- ・読書記録カードによる読書記録の継続
- ・「桃三郎おすすめ本」の推進
- ・年3回の読書旬間イベントで読書推進
- ・桃三ブックフェスでの全学年展示と作品の公募参加
- ・教科に関連した読書の動機付け
- ・教科横断による探究型学習の支援
- ・「学び方ファイル」による情報活用の振り返り
- ・ブックリサイクルの実施



特色ある取組

◎情報活用能力育成のための指導

- ・系統表を作成する。
- ・情報担当教諭・担任・学校司書が連携して行う。
- ・授業実践を教員全体で共有フォルダに共通形式のものを作成し、保存する。
- ・担任と司書のやりとりを行うファイルに「学校図書館年間活用計画」を添付し、図書館を使った授業をこまめに確認し合う。



◎毎週金曜日朝の「情報活用の時間」

- ・朝読書の時間も確保
- ・計画表による実施
- ・学年の学習に準じた情報活用番組の視聴
- ・「新聞タイム」による読解力アップ



これからの学校図書館

- ・意欲的に探究し続ける態度を育むために、興味関心をもつことができるような情報の発信を続けていく。
- ・情報活用能力の育成が継続的にできるように、計画的な授業実践の共有を進める。